

令和7年度 第2回岡崎市ユニバーサル農業推進懇談会 会議録

1 会議の日時及び場所

令和8年1月30日（金）14時～16時

岡崎市役所東庁舎7階701号室

2 出席者（敬称略）

（構成員）

加藤 智子：関係団体（あいち三河農業協同組合女性部）

小林 和寿：関係団体（あいち三河農業協同組合営農企画課長）

鈴木 慎二郎：関係団体（社会福祉法人愛恵協会）

柴田 若江：農業実践者（岡崎市農業委員）

杉山 琢士：市民公募

隅田 裕二：関係団体（愛知県立みあい特別支援学校教諭）

（テーマ関係者）

石塚 玲子：関係団体（特定非営利活動法人アルクス理事長）

藤山 尊司：関係団体（おかざき農遊会顧問）

鈴木 智：関係団体（おーがざっき）

農務課：小林 哲夫、板坂 英幸、井尻 智久、西村 燿

中山間政策課：小早川 侑

障がい福祉課：高桑 未紗樹

ふくし相談課：柴田 千奈美

岡崎市社会福祉協議会：足立 尚

3 会議次第

(1) 令和7年度農福連携事業について

(2) 令和8年度農福連携事業について

4 会議要旨

(1) 令和7年度農福連携事業について

市民農園開園状況、農福連携実績等について、事務局から説明。

(2) 令和8年度農福連携事業について

ア 有機農業と農福連携の可能性について

○鈴木氏（おーがざっき）

有機農業を実施しており、草取りを福祉事業所に委託できれば助かるが、夏は暑さが厳しく熱中症が心配なので難しいのではないかと？

○石塚氏（NPO 法人アルクス）

夏場の草取りは福祉事業所に委託するのは厳しいと思う。福祉事業所は9時～15時と作業時間が決まっており、早朝や夕方 of 涼しくなる時間帯の作業ができない。

○鈴木氏（おーがざっき）

サトイモを以前栽培していたが、ヒゲを取るのが面倒でやめてしまった。福祉事業所にお願いできるなら再開したい。他にもにんじんのシール貼りを依頼したい。規格外のにんじんもあるので加工してもらえると助かる。

○石塚氏（NPO 法人アルクス）

NPO 法人アルクスではお菓子作りにも力をいれているので、にんじんの加工はお手伝いできると思う。シール貼りなどの費用はお金ではなく、野菜をいただく方法でも可能です。

イ 新規農福連携マッチングの候補について

○事務局

お試しノウフクに取り組む農業者が少ないので他に取り組んでくれそうな農業者はいないか？

○小林氏（JA）

J A あいち三河では各部会にアンケートを実施し、その中に農福連携についての項目を入れた。その結果、農福連携を既に利用していると回答した方は7名、農福連携に興味があると回答した方は21名いた。今後、興味があると回答した21名に農福連携を進める取組をしていきたい。ただ、どのような作業がいくらでやってもらえるのか農業者は分からず、実施に踏み出せない方が多いため、既に実施している方の参考資料があると助かる。

○事務局

実施した方の実績をまとめた参考資料を作成します。農業者から農福連携マッチングの依頼があった場合、福祉事業所で取り組みたいという方の募集はどのようにできそうでしょうか？

○障がい福祉課

障がい福祉課では福祉事業所が入っているネットワークがあり、そこへ発信することは可能。また、福祉事業所が集まる会議もあるため、直接説明する場を設けることも可能。

○石塚氏（NPO 法人アルクス）

福祉事業所の実態として農福連携に興味があっても職員不足で実施できないところが多い。ほ場に利用者を連れていく職員が2名必要となると事務所にも決まった数の職員が残る必要があるため、職員不足となってしまう。過去農福連携を実施したことのある福祉事業所に声をかける方がいいかもしれません。

○鈴木氏（愛恵協会）

福祉事業所の立場からすると急に仕事が単発で入ってくるのは調整が大変なので、年中同じ仕事があると助かる。

○石塚氏（NP0 法人アルクス）

NP0 法人アルクスでは農福連携を何年も続けたことで年間計画を立てられるようになりました。2月はネギ、6月はぶどう、12月は自然薯など利用者もこの時期はこの作業があると分かっているので楽しんで作業に取り組んでくれています。

○事務局

農福連携の年間計画があると福祉事業所で取り組んでくれるところが多くなりそうですね。

その他

○ふくし相談課

福祉事業所で農地をもっている農家の指導者がおらずなかなか進められないところがある。おかざき農遊会さんは栽培指導をどのようにされていますか？

○藤山氏（おかざき農遊会）

少額ですが指導料をいただいています。ご要望があれば私までお問い合わせください。

終了を宣言。